

2会場何れも新型コロナ感染拡大対策に努め実施したが、現在も完全収束には至っていないため、今後も会場は収容定員の50%を目処にした会場確保に努め、密を避け、マスク着用、換気、消毒…とこれまで同様にコロナ感染対策を施し開催したい。

また、この点検技能講習会はご存知の通り5年更新での講習会として位置付けられているが、平成28年12月に東北6県より理事長等数名の方が「点検技能講習会のための講師講習会」を受講し、5年の間に講師として約700名の修了者を輩出している。

その方たちも令和4年から順次今の資格を更新する時期となるが、差し当たっては、全国で東北地区連が最初に実施した平成29年1月14日の「点検技能講習会修了者」については、「更新点検技能講習会」を1月15日に受講していただくこととしており、さらに猶予期間内に「更新」出来るよう「講習会」の実施計画を立てているので、各自で資格の保持に努めていただきたい。更新講習会を猶予期間内に受講出来なかった場合は、今ある修了証は失効し、改めて新規講習会を受講修了することになるので注意が必要。

なお、業界人として揺るぎない資格である「屋外広告士」の取得についても一考の上、毎年10月に実施される試験に挑戦してみても……。東北地区連では、屋外広告士試験の実技(デザイン・設計)対策勉強会を実施しているので、是非、講師から直接指導を受けて受験に臨まれることをお勧めしたい。

仙台会場



屋外広告士試験実技対策事前講習会

4回目となる屋外広告士試験実技対策講習会を、昨年10月24日の試験1か月前の9月25日に受講対象者を受験者と限定し、実技試験選択科目の「デザイン」クラスと「設計」クラスに分かれて、宮城県立仙台高等技術専門校内の2教室をお借りし実施した。

昨年に続きコロナ禍でもあり、開催も危ぶまれたが屋外広告士の試験続行決定を受けて予定通りでの実施となったが、今回は遠方からの受講希望者があったことから、教育機関でもある仙台高等技術専門校より事前にコロナ感染対策に関する文書での提出が求められての講習会実施となった。

また受講者にもコロナ禍での注意事項と当日朝の体調調査書を事前に送り、講習会当日の朝の検温で許容範囲を超えた場合は、欠席の判断をするように強く求めた講習会となった。

《デザインクラス》



受講者10名は、講師の石川菜々絵氏(宮城県立仙台高等技術専門校サインデザイン科・職業訓練指導員)の指導テキストに沿った講義を午前中に受け、午後からは過去問題を参考にした課題が提示され、時間制限が設けられた中、講義で学んだことを基に真剣にそれぞれがデザインや彩色に取り組まれていた。

その後、順次前に出て仕上げた課題の発表を行い、その都度、石川講師から良い点や中止すべき点等の指導を受け講習会を終えた。

この講習会の受講者には東北以外の試験会場受験者も含まれており、実技講習のある東北地区を選択しての申し込みとなった。

《設計クラス》



これまでの最多受験者7名の指導は、木村東北地区連副会長(青森県理事長)の準備した指導プログラムにより、プロジェクターを使用した授業を行い、午後からは試験を想定した課題に取り組み、個々の理解度に沿って丁寧な指導が行われた。

その後は、回答を含めた解説と試験時の注意点の指導があった。試験まで集中した勉強を行うことが大事であること。過去問を出来る限り解くこと、線を引く練習を多くこなすようにとの激励の言葉で講習会は終了した。

編集後記

今年度から啓発事業委員会を担当することとなりました、秋広美の石井です。どうぞよろしく願っています。編集にあたり、青広美の木村さん・東北地区連事務局には大変ご苦勞おかけいたしますが今後ともよろしく願っています。

昨年十二月二十二日に第十一回啓発事業委員会・中央委員会が屋外広告会館及びリモートで開催されました。審議事項から二点お知らせいたします。その一、出版事業について、サインズ誌定期購読のお願い、一回休刊した後に再発刊されましたが、東北地区では十四社の購読数となっております。皆様には、今一度購読よろしく願っています。こちらよりお申込みよろしく願っています。

その二、屋外広告制度の普及・啓発について、チラシのデザイン決定致しました。このチラシの片面は各単組にて自治体の条例や組合のPRなどデザインして頂き、屋外広告の日キャンペーンの際に配布するなど普及啓発の一環として活用していただく事を想定しています。



最後のようになりますが、今年こそは、普通の生活・通常の経済活動が出来ることを願うばかりです。コロナが終息して今まで通りの総会・キャンペーン作品展が出来ること、また、皆さまと会えるのを楽しみにしております。

啓発事業委員長 石井 正幸
編集・製作 木村 光徳